

計画事業番号	00222	事務事業名	学校施設管理機器整備事業	担当部署	教育部教育総務課	電話	886
--------	-------	-------	--------------	------	----------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等				
事務事業開始年度	平成17年度		個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 2 節) 信頼され、魅力ある学校づくりの推進	
	(施策 2) 教育環境の整備	
2 対象	市立小中学校	
3 目的と内容	良好な教育環境を維持するために必要な草刈機、除雪機などの管理機器の保守管理及び修繕を行うとともに、耐用年数を経過した機器を更新する。(前回推進計画からの変更点:通学路の安全確保や、グラウンド等の教育環境整備のため各小中学校で使用している草刈機、除雪機は、使用年数が長くなってきており、修繕対応が増えてきていることから、年度に1台ずつ小中学校の草刈機、除雪機の更新ができるよう計画をしている。)	
4 実施内容(手段)	27年度まで	草刈機、除雪機の点検委託及び修繕
	28年度	草刈機、除雪機の保守管理及び修繕、更新

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
草刈機、除雪機の修繕 芝刈り機の点検委託の実施	草刈機、除雪機の修繕 芝刈り機の点検委託の実施	草刈機、除雪機の修繕 草刈機、除雪機の点検 委託の実施 耐用年数の経過した草 刈機、除雪機の更新		草刈機、除雪機の修繕 草刈機、除雪機の点検 委託の実施 耐用年数の経過した草 刈機、除雪機の更新		草刈機、除雪機の修繕 草刈機、除雪機の点検 委託の実施 耐用年数の経過した草 刈機、除雪機の更新	

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	良好な教育環境を維持するため必要な機器であり、継続して点検委託及び修繕、更新を行う。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			282	1,174	2,103	2,103
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	282	1,174	2,103	2,103
		① 合計	282	1,174	2,103	2,103
	人件費	② 人数(年間)	0.04	0.04	0.04	0.04
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	360	360	360	360
		総事業費①+④	642	1,534	2,463	2,463

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①草刈機、除雪機の修繕実施台数(陽香分校を除く)	台	発生時対応	発生時対応	発生時対応	発生時対応
		実績値	5			
	②草刈機、除雪機の点検委託実施台数(陽香分校を除く)	台	発生時対応	発生時対応	発生時対応	発生時対応
		実績値	6			
成果指標	③草刈機、除雪機の更新台数	台	予算措置なし	2	4	4
		実績値	0			
	④	台				
		実績値				
成果指標	①修繕実施割合	%	発生時対応	発生時対応	発生時対応	発生時対応
	【実施台数/発生台数】	実績値	100			
	②点検委託実施割合	%	発生時対応	発生時対応	発生時対応	発生時対応
	【実施台数/発生台数】	実績値	100			
	③草刈機、除雪機の更新割合	%	予算措置なし	100	100	100
	【更新台数/対象台数】	実績値	0			

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
<p>妥当性</p> <p>・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入</p>	3	義務教育施設の維持管理業務として行うものであり、業務主事の業務の一環として市が実施する事業である。
<p>達成度</p> <p>・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入</p>	3	児童生徒等の教育環境を良好にかつ適切に保持・管理することを目的としており、それに伴う維持管理機器の保守・修繕であることから、成果は上がっている。
<p>成果向上</p> <p>・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入</p>	2	各学校の業務主事の対応状況や、機器の状態の経過を把握していくことで、今後の機器の更新、修繕内容を検討し、学校の維持管理業務の向上へ繋げる必要がある。
<p>経済性</p> <p>・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入</p>	3	現状、学校の実態に応じて修繕を行っているところではあるが、軽微な補修・修繕については業務主事が対応していることもあり、予算の削減は難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。